

横浜開港150円商店街

商店街・個店の認知度アップに成果  
来年度は各会の都合に合わせて実施へ

2月13日、市内117もの商店街が参加して第5回目、今年度最後の横浜開港150円商店街(以下、150円商店街と略)が開催された。

この事業は、横浜開港150周年を記念し、商店街のにぎわいづくり、各個店への顧客誘引・認知度向上を図るため、市商連が市の支援を得て、各商店会に呼びかけたもの。

開催日は6、8、10、12、2月(いずれも第2土曜日)の5回。

共通の宣伝は市商連ホームページのほか、(1)共通ののぼり旗やポスターを各商店街で掲示(市商連が各会の加盟店数に応じ一定数を支給)、(2)共通のチラシを各商店会で配布(同)、(3)アンケート用紙を兼ね、抽選で各種景品が当たるポイントカード(台紙)を150円商品買い上げ客に進呈(同)など。以下、150円商店街の成果と課題を考えてみた。

よこはま  
市商連

154号 2010年(平成22年2月号)

発行◆社団法人横浜市商店街総連合会

発行人◆岡野誠一

〒231-8575 横浜市中区万代町2-4-7 横浜市技能文化会館5階

TEL. 045-662-0874 FAX. 045-662-5888

eメール kato@yokohama-syoutengai.com

制作◆有限会社商店街情報センター

市商連HP <http://www.yokohama-syoutengai.com/>

成果

●マスコミで大きく報道

「横浜開港150周年」を記念、全市で117商店街が、「150円商店街」を一齐に開催するという事で、マスメディアの注目度は高く、1回目の6月は殆どの放送局、新聞社がニュースとして取り上げた。NHK総合やテレビ朝日、TBSテレビなどは5分前後にわたって放映した。

共通宣伝物のほか、独自にチラシやPOPを作成してPRをしたり、福引、模擬店、子供向けゲームなどのイベントを実施した商店会も少なくなかった。インターネットの普及に伴い、ホームページで150円商店街をアピールする商店会、参加店も徐々に増えている。

●新規顧客の増加

マスコミで大きく報じられたこともあってか、商店街へ足を運び、これまで利用したことのない店を回る消費者の数も多かった。過去4回の150円商店街消費者アンケートでも、「初めて利用した店があった」が40%程度、「対象商品以外の商品を購入した」70%程度、「今後も来たい」80%程度と今後の実施に期待を持たせる結果が出ている(4回分の回答総数は5022通)。

また、参加店アンケートでも、「ふだんの土曜日より来街者が多かった」、「顔なじみ以外のお客さんが来た」が共に60%以上あり、集客に効果があることを証明している。

●同一地区商店会の連携

JR戸塚駅西口の3商店会、相鉄線瀬谷駅南口の3商店会、鶴見区をつくの三角地区など、隣接しながら従来は殆ど共同事業をしたことなかった複数の商店会が共同開催をしたこともこの事業の成果といえる。これらの地区では、150円商店街以外でも、連携を深める機運が出ているという。

●地域の企業・学校等との連携

各店の売り出しを盛り上げるためのイベントをいかに経費や人手をかけずに実施するか? 鶴見区をつくの商協組では、150円商店街のオフィシャルスポンサーであるコココーラ社



「足湯」群馬県の吹割温泉から直送した温泉。特設浴槽では一度に最大10人ぐらいがくつろげる(2月13日、港北区・大曾根商店街)



ピエロ(左端)の風船遊びに夢中になる子供たちと笑顔の保護者や買い物客(12月12日、港南区・荻が谷銀座商店会)

本号の主な内容◆1-2=横浜開港150円商店街・認知度アップに成果 3=[必活!商店街仕掛け人]緑区・中山商協組・奥津守理事 4-5=[元気商店]鶴見区・豊岡商協組「かないや」[ただいま修業中]戸塚区・協組戸塚旭町商店会「春芳茶園」後藤隆典さん [Myrefresh]保土ヶ谷区・和田町商協組・山室公男さん [商店街ユーザーの声]港南区・西澤誠さん 6=[FROM市商連]表彰(優良小売店舗・商店街役員と優良従業員) / 3月25日に予算総会/配慮を!のぼりやワゴンの店頭掲出 [FROM市役所]事務所・店舗等のエネルギー対策でお困りのときは! / 花壇づくりを支援します! 7-8=[NEWS]

■2月13日、港北区・大曽根商店街

小林尚之会長は、「雨天で人出はいつもの半分以下でしたが、それでも何百人ものお客さんがかけつけてくれ楽しんでいただいた。参加店などがよかった、と喜んでくれた」。



大きな寸胴鍋に豚汁150人分をつくり、来街者にふるまった。外は冷たい雨だが、テント内で食べる豚汁に身もこころも暖まる。

ポスターに印刷されたQRコードを携帯電話で読み取る男性。



■2月13日、南区・横浜橋通商協組



商店街内数カ所に立て看板を設置。150円商店街参加店の目玉商品を掲示して、注目度を高めた。

■12月12日、中区・麦田町発展会



焼き肉店「心処」のタンシチュー150円には長蛇の列。地元紙で事前告知されたこともあり、本番数日前から同店はもとより、同会大谷会長の店にも問い合わせが殺到したという。

の協力を得てのゴルフのバター大会、地元を読売新聞販売店によるサイコロゲーム、キリンビールに飲料類の協賛、地元の中学校や高校生徒による和太鼓や音楽演奏などの場を設けている。神奈川区の六角橋商店街連合会では、山形県新庄市や同・高島町など地方の自治体や農協、商工会と連携、150円商店街で特産品や観光コーナーを設置した。

■課題

●加盟店への周知徹底

マスコミで大きく取り上げられたが、加盟店や個々の店舗としての取り組みは温度差もあった。加盟店に趣旨をよく説明、多くの参加店を集めた商工会では、賑わいづくりに成果をあげたが、一方で、「商店街の形態や業種構成が向いていない」、「既存の売り出しやイベントとの両立が難しい」、「品揃えが難しく、参加店が集まりにくい」という商店会もあった。経費をあまりか

けずにどう告知するか？ 長引く不況で厳しい経営環境にある中で、どれだけ多くの加盟店に積極的に参加してもらうか？ 共通する課題だ。  
\*来年度も、「商店街全体を150円ショップに見立てて、各店が店頭顧客を誘引する」という基本的な考え方は同じですが、開催日を各会が自由に設定できるようにするなど実施方法は一部変更する予定です。  
(詳細は後日発表)

●チャレンジ精神、遊び心

厳しい時代だからこそ、商店街ぐるみで盛り上げ、試行錯誤をしながらも品揃えに工夫を凝らす、お客さんに店舗や商品をアピールするという姿勢が各店に期待される。  
鶴見区・鶴見銀座商協組の生花店、「海戸園」の大平憲太郎さんは、「海戸園の花は長持ちする、と知ってもらってお祭りや割り切り、旬のお薦め品を思いっきりサービスしている」という。



仕掛ければ動き出す!

# 「中山好き」の仲間と共に、まちづくりや販促事業に率先参加

緑区・中山商店街協同組合  
専務理事 奥津 守さん



トラッシュバスターズ（毎週月曜朝に清掃するグループ。商店主有志と神奈川大学サッカー部などのメンバーなどで構成）の仲間と（前列右端が奥津さん、中央が加藤理事長）

## 安心して歩ける商店街づくり 一方通行案を作成

中山商店街協同組合（中山商協組）は、5年間にわたり40回以上の会合を重ね、



昨年11月の中山まつりメイン会場（中山駅前の商店街駐車場）には歩くのが困難なほど大勢の人が集まった

この案を加藤龍昭理事長と共に中心となって推進しているのが、中山商協組の奥津守専務理事（お茶の奥津園専務。49歳）。会議や視察の段取り、資料の収集、加盟店や住民へのアンケートなどの作業に率先して取り組んだ。「商店街道路の安全性については90%以上の住民・加盟店が『問題がある』と感じており、今後ますます進む高齢化を考えると、何としても実現しないといけない問題」と考えている。一方通行案については、基本的には始どの組合員が同意しているが、「営業に支障がある」といった店もあり、

「中山駅南口周辺道路の一方通行案」を作成した。この案をもとに、一昨年から地域住民代表や行政組織を交えた会合を開催、実現に向けて動き出している。

案の骨子は、南口の各通りについて、短期（3年程度）(1)通行車両を一方通行とする、(2)車道幅を狭くして歩行帯を広げ、車道と歩行帯を色分けする、中期（5年程度）(1)段差のない歩車道の整備、(2)統一性ある商店街の案内標識の設置、(3)各店頭へのモニ

各論をどう詰めていくか、が今後の課題だ。各種事業の準備も率先

中山まつり、盆踊り大会などのイベントやスタンプシールなどの販促事業等を統括するのも奥津さんの仕事だ。中山まつりは、毎年11月に実施している中山商協組最大の行事。区や警察署、消防署、地元の小中学校、近隣自治会、その他の協力を得て、吹奏楽、ドラムマーチ、踊り、和太鼓、福祉バザー、露店、サンバ、お囃子など多様な催しを展開、6万〜7万人の人が集まる。

半年以上前から準備の会合を始め、2カ月近く前からは毎週1、2回の会合などが続く。パンフ作成の広告

集めは段取りをするだけでなく、自らも仲間と共に企業や団体などを掲載依頼に回る。

徐々に若手を商協組理事に登用  
高校卒業後、好きな音楽関係ということで、楽器店に勤めていたが、25歳の時、父親の経営する店に戻ると同時に中山商協組青年部に参加。以来25年近く商店街の第一線で活動してきた。青年部長、理事、常務理事、そして昨年専務理事に選出された。青年部長の頃から若い人を積極的に登用。常務理事就任後も、徐々に若手を理事に登用している。

発想するより実践するタイプ、と自らを評する奥津さん。要職についても、率先して実務をこなす。まだ49歳だが、26歳の長男と一緒に店をやっていることも、商店街活動への支えとなっている。

「中山まつりやスタンプシールなど先輩たちが築いた事業をいかに継続、発展させるかが自分たちの役目。この商店街で生まれ育った自分には、多くの仲間がいる。みんな、中山が好き。みなで協力していいまじりにしたい」と抱負を語る。



車歩道の分離がなく大型バスがギリギリ通行する商店街の通りを、安心して歩けるようになるのが悲願

大評判!

リサイクル横丁  
今春OPEN  
出店店舗募集中!



# 鶴見区・豊岡商店街協同組合 (株)かないや 金井昇さん リサイクル着物を インターネットと実店舗で販売 今春にはリサイクル横丁開設へ!



快進撃を続ける金井社長

不況風が日本中を吹き荒れているが、(株)かないや(金井昇社長、63歳)には無縁のようだ。

3年前、JR鶴見駅西口のフーガ1号館(西友が核店舗)1階に宝石店を開店、昨年12月はインターネット通販を含め創業以来最高の売り上げを記録した。

そして今年3月中旬に、フーガ2号館5階にアンティークリサイクル横丁をオープンさせる予定。

リサイクル横丁は、33坪の飲食店跡を購入したもので、1区画3坪で8区画のリサイクル専門店を入れる計画だ。うち1

「かないや」トップページ

区画はかないやのリサイクル着物店、1区画は斬新な企画を出した学生に安価で提供する。

残り6区画を、骨董、美術、衣類・和洋アンティーク等に深い知識と意欲のある人を対象に、3カ月30万円(家賃、宣伝費、光熱費)、保証金20万円で貸し出す。

最大の特徴は、契約を3カ月単位としたこと。これは継続できるかどうかのメドが立てられる期間。万が一うまくいかない場合でも、30万円の賃貸料負担で撤退できる。

また、営業日を原則、毎週金曜～日曜としていることも特徴の一つ。「この手の商品は週末の3日開ければ十分。営業日以外を商品の調達や手入れその他の時間にあててもらえば、1人でできる」(金井さん)。

超特価! 60%引き商品はこちらです

同じフロアに展示即売会やフリーマーケットのイベントに利用できる27坪ほどのイベントスペースも借りた。貸出賃料は3日間5万円と売り上げの10%。

### ◆インターネットで飛躍

これほどの躍進を遂げられたのは、中古呉服を中心にしたこととホームページ(HP)で販売したことが大きな要因といえるだろう。

同社は1922年(大正11年)呉服商として創業。

89年にリサイクル衣料専門店を2号店として開店した。売れ出したのは、HPを開設、「リサイクル着物」としてインターネット通販を開始してからだ。

HPは金井さん自身が49歳から勉強して開設した。最初は全く反響がなかったが、半年ほどしてから売れ始め、1年後には月商100万円ペースに。最近では呉服関連だけで月商1100万円ペースに成長、実店舗より多いという。

新品の1割から2割程度の価格で購入できる魅力に加え、仕入れた中古品を細かくチェックして新製品同様に手入れをすること、1つの商品に5〜10カットぐらいの写真とわけあり商品の場合も含め詳しい説明をつけていること、問い合わせには1日以内に対応することなどで、リピーターを増やした。

本店のある豊岡商店街内には中古マンションを購入、商品の撮影などHP作業室としているほか、さいたま市与野には店舗兼商品手入れ室を開設している。

スタッフはパート&アルバイトを含め45人。うち身内は6人で、後継者は娘婿の渡辺康文常務に内定。長男の基道さんには宝石部門を任せ、こちらも実店舗のほか、楽天モールで毎月数百万円を売り上げているという。

財団法人神奈川県中小企業振興財団 高齢者福祉増進事業

## 楽介護ネットワーク神奈川

運営: NPO はあとけあ

介護分野を中心に様々な相談・支援をいたします。

介護相談ダイヤル

# 0570-065-110

(平日: AM10:00 ~ PM5:00 まで 相談無料・通話料自己負担)

電話相談  
地域イベント  
割引制度  
etc.



介護サービス  
葬儀  
遺産相続  
etc.

My refresh

# ロードバイク

山室公男さん(有)竹世寿司代表取締役  
保土ヶ谷区・和田町商店街協同組合



今年1月下旬、沖縄にご夫婦で旅行した時も愛車を持参

竹世寿司の二代目店主、山室公男さん(62歳)が5年ほど前から続けているリフレッシュ法は、非常に健康的だ。

「もう二度と乗るもんか!」と思うほど苦しい時もあるが、完了した後の達成感は何ともいえないという。ロードバイクは、舗装道路を長距離にわたり高速で走るための軽量自転車。ちなみにご夫婦の愛車は1台40万円。はまったきっかけは、次男

ロードバイクで毎日1時間半は周回を走り、月に1回程度は三浦半島1周などの遠出、佐渡島1周の大会にも毎年参加するなど、すっかりはまっている。いつも奥さんのなごさんと、一緒である。

「もう二度と乗るもんか!」と思うほど苦しい時もあるが、完了した後の達成感は何ともいえないという。ロードバイクは、舗装道路を長距離にわたり高速で走るための軽量自転車。ちなみにご夫婦の愛車は1台40万円。はまったきっかけは、次男

戸塚区・協同組合戸塚旭町通り商店会  
(株)春芳茶園 後藤 隆典さん

# お客様に喜んでいただくことが一番

「いつ、どこで、誰が、どのように作ったかがわかり、安心できる専門店のお茶ですよ」、「このお茶は花粉症に効きます」、「九谷焼の茶碗です。抹茶にはちよつと小さいですが野点ならギリギリ使えます」、「ポイントカードは、この用紙にちよつと書いていただくだけで、すぐできます」といった説明



「おいしいだけでなく、健康にもなる日本茶の素晴らしさを実感している」ためか、お茶をはじめとした扱い商品をお客さんに説明するのがいかに楽しそうだ。



オープンしてまもない「サクラス戸塚」店

同店は社長である父親の武史さんが31年前、戸塚旭町通りに開店させた。隆典さんは、デパートなどで衣料品関係の販売に従事した後、6年前から同店で働いている。「どのように作られている商品か、そして、お茶ならおいしい飲み方なども含めてお客様、特に、ほくらと同じ若い世代にしっかり伝えたい」。その思いを、同店のホームページ、そして2年ほど前から年4回ペースで出している情報紙「まごころ新聞」(A4判2頁、知って得するお茶の話やお茶のリサイクルの試みなど)にも盛り込んでいるが、それらの制作も隆典さんが中心となっている。加えて、昨年11月末からは、旭町通り店から徒歩数分のバスセンターそばにオープンした、「サクラス戸塚」店を任せられるなど、多忙な日々が続いている。

「芹銀(芹が谷銀座商店会)のイベントには子どもを連れて時々行くんですよ」と語ってくれたのは、港南区芹が谷在住で、東京・神田の会社に勤める西澤誠さん(36歳)。

昨年12月12日の横浜開港150円商店街イベントにも、小さな息子さんら3人を連れて遊びに来た(奥さんは3人目のお子さんを出産したばかりで自宅静養中)。

この日、芹が谷銀座では、大道芸や各種模擬店、ゴルフのバターゲームなど多彩なイベントを開催した。「こういうイベントは、地域密着の商店街ならでは。楽しいですね。子どもたちも喜んでいました」と西澤さん。

「ふだんの買い物は、近所のスーパーや生協が多いですね。1カ所でも揃うし、国産の食料品が多いのもいい」。

「専門店を利用するのは、パン屋さん、和菓子屋さん、豆腐屋さんなど。それぞれ、その店にしかないおいしさがありますし、お店の人たちの感じもいい。豆腐屋さんなどは形が崩れた豆腐などを安くしてくれるなど臨機応変のサービスもあります」。

「低価格のチェーン店などに押されて厳しいとは思いますが、『店の売り』をわかりやすくアピールしていけば、利用する消費者も増えるのではないのでしょうか」。

## 商店街イベントは楽しい! 商店は店の売りアピールを

### 商店街ユーザーの声



横浜開港150円商店街イベントで、ピエロに指名され、飛び入り参加で風船をふくらます西澤さん(昨年12月、芹が谷銀座で)

表彰

優良小売店舗表彰

横浜商工会議所と市商連は共同で、12月8日、横浜商工会議所大会議室で、第54回横浜優良小売店舗の表彰式を開催しました。



優良小売店舗表彰を受けた方々

優良小売店舗表彰を受けた方々  
市商連では、2月18日マリントワー  
ホールで平成21年度商店街役員・優良  
商業従事者等の表彰式を開催しました。  
受表彰者は、横浜市長表彰区商連会長  
1名、横浜市長表彰商店街役員等11名、  
市商連会長表彰商店街役員14名、及び  
商業従事者13名の合計39名。

3月25日予算総会

平成22年度の事業計画・予算を決定  
するための総会を3月25日(木)午後  
2時半より、中区長者町の明治安田生  
命・ラジオ日本ビルにて開催します。

機関紙アンケート結果

ニーズの多い情報は、行政の支援制度  
や販促事業、個店情報等  
市商連では1月に、今後の機関紙  
事業充実のため、加盟全商店会を対  
象にアンケートを実施、2月10日現  
在、143商店会と2区商連からご回  
答をいただきました。紙面を借りてお  
礼申し上げます。

- 1・参考度「なっている」81%、「な  
っていない」18%。
  - 2・発行回数「現状の年4回程度で  
いい」82%、「減らしたほうがいい」  
11%、「停止したほうがいい」5%、「増  
やしたほうがいい」2%。
  - 3・希望する情報「市などの支援制  
度」68%、「売り出しイベント」58%  
「個店の取り組み」57%、「研修会など  
の情報」27%、「ホームページの開設・  
運営」16%など(複数回答)。
- この結果を参考に本紙の充実に努め  
ます。今後とも情報やご意見をお寄せ  
ください。

ご配慮を!

のぼり旗やワゴンなどを店頭に掲  
出する際は、法令を遵守し、通行の  
妨げとならないようご配慮願います。

花壇づくりを支援します!  
区民花壇設置助成制度スタート

横浜市では「横浜みどりアップ計画  
新規・拡充施策」の一環として、民有  
地内に設置する花壇やプランターの整  
備費用を助成します。

- 助成の対象 民有地内の市民が鑑賞可  
能な屋外に設置される地植え花壇ま  
たはプランター花壇
- 面積条件 地植え花壇合計10m以上ま  
たはプランター花壇合計3m以上
- 助成対象経費 花壇の設置に要する費  
用など(詳細はHP参照)
- 助成額 助成対象となる経費の全額助  
成 \*上限は50万円
- 申請受付期間  
平成22年度分：平成  
22年4月26日～平成  
23年1月31日まで  
(予定)
- 申請方法及び申請先  
所定の申請書に必要  
事項を記入し、添付  
書類を添えて左記に  
提出
- 問合せ  
横浜市環境創造局  
みどりアップ推進課  
(〒231-0017 中区港  
町1-1 関内中央ビル6階)  
電話 671-2668  
FAX 224-6627  
ホームページ  
<http://www.city.yokohama.naieikaku/midori-up/midori-up-plan/jingyo/midori-ryokuka/kadan.html>

事務所・店舗等のエネルギー対策で  
お困りのときは!

横浜市(財)横浜企業経営支援財団では  
中小企業支援の一環として、省エネ相談  
を実施しております。事業活動で発生  
消費するエネルギー対策として、ぜひご  
活用を!

経験豊かなアドハイザー(エネルギー  
管理士、技術士などの専門家)が、貴社  
の事業所に直接出向き、アドバイスし技  
術課題を解決します。  
相談対象者は市内店舗・事務所保有の  
中小企業者、相談回数は期間中(平成22  
年3月31日)3回まで無料です。  
\*詳しい情報は [www.idec.or.jp/shouene/](http://www.idec.or.jp/shouene/)

大型小売店舗の計画と届出書類を市役所で見る事ができます

横浜市内：問合せ先・縦覧場所・意見書提出先  
【横浜市経済観光局産業立地調整課】Tel.045-671-2598  
URL <http://www.city.yokohama.jp/me/keizai/jourei/rittihou.html>  
◆届け出の内容

・新設(新設のみ店舗所在区の各区役所区政推進課でも見る事ができます)				縦覧期間・意見書提出期限
大規模小売店舗の名称(所在区)	主な小売業者	開店日	店舗面積	
神奈川スバル新山下店(中区)	神奈川スバル(株)	H22.6.1	1,400平米	H22.3.25
ヤマダ電機テックランド横浜戸塚店(戸塚区)	(株)三和、(株)ケーズホールディングス	H22.9.28	6,020平米	H22.6.15
・大規模小売店舗の施設の配置及び運営に関する変更				縦覧期間・意見書提出期限
大規模小売店舗の名称(所在区)	主な小売業者	主な変更点		
横浜ルミネ(西区)	プラザスタイル(株)ほか	店舗面積の合計 ほか		H22.3.5
オーロラシティ(戸塚区)	(株)西武百貨店※、(株)ダイエー	駐車場の位置及び収容台数 ほか		H22.3.5
リストガーデンスクエア(港南区)	(株)ヤマダ電機 ほか	店舗面積の合計 ほか		H22.3.15
相鉄港南台ビル(港南区)	相鉄ローゼン(株)ほか	開・閉店時刻 ほか		H22.4.15
岡津ビル(泉区)	(株)大我産業 ほか	荷さばき施設の位置及び面積ほか		H22.4.26
いずみ中央ショッピングプラザ「相鉄ライフ」(泉区)	相鉄ローゼン(株)ほか	店舗面積の合計/開・閉店時刻 ほか		H22.5.17
(仮称)鶴見区尻手2丁目ビル(鶴見区)	(株)三和、(株)ケーズホールディングス	荷さばき施設の作業可能な時間帯		H22.5.17
中白根ショッピングセンター(旭区)	テスコジャパン(株)、(株)CFSコーポレーション	開・閉店時刻/駐車場を利用できる時間帯		H22.5.17
K-1ショッピングセンター(旭区)	(株)ライフコーポレーション、(株)CFSコーポレーション	駐車場出入口の数及び位置の変更		H22.5.17
ペイタウン本牧5番街(中区)	未定	開・閉店時刻 ほか		H22.6.15

\*現在は、合併し(株)そごう・西武(届出なし)。

## 「マリノストリコロールフェスタ」 に市商連ブース出店

1月30日、マリノスタウンにおいて、NISSAN presents 2010 横浜 F・マリノス トリコロールフェスタ」が開催され、選手のサイン会やステージショーなど見どころ満載で1万人を超える過去最高のファン・サポーターが訪れた。市商連では会場内にブースを出店し、2月の第2土曜日(13日)に開催する今年度最後の『横浜開港150円商店街』の目玉とする「横浜開港150円商店街×横浜F・マリノスコラボレーション企画」の宣伝につとめた。

またブース内では、Tシャツを1枚500円で約50枚、磯子区の洋光台ショップ27店もバナナひと房100円で約300房を販売した。購入者にはマリノス選手のサイン会参加券がプレゼントされるとあって、2商品ともアツというまに完売。その後、ブース内で2選手によるサイン会が行われ、多くの



立て看板などでコラボ企画の宣伝につとめる市商連ブース

ファンが列をつくるなど盛況だった。

## 楽しく環境キャンペーン

瀬谷区の三ツ境南口商店街は市と協力して、環境問題に取り組んでいる。昨年12月には、11、12日に有志店舗が、レジ袋持参や割り箸辞退など環境に良いことをした消費者に横浜環境ポイントを進呈したほか、同商店街内の特設ポイント交換所に電気・ガスの検針票(10月&11月分)や節水型シャワーや省エネ電池購入の領収書を持参した人にポイントを進呈。これらを合わせたポイントは、数に応じて各種エコグッズとの交換や商店街のガラポン抽選などに利用してもらった。12日には、省エネ実践コーナーや手作りキャンドルコーナーも設置した。



家庭で出来る省エネを提案する実践コーナー

また、2月13日の150円商店街では、商店街をまわると答がわかる「街ごとエコクロスワード」、マイ箸・マイ器を持参すると150円の豚汁が50円引きとなるサービス、地球温暖化対策ブース開設などを実施した。

## 活用しよう「ジョブカード制度」

人材不足に悩む中小企業・商店の人材確保・育成に強い味方になってくれるのが、「ジョブカード制度」。

この制度は、厚生労働省が2008年にスタートさせたもので、将来の中心人材育成を考える企業に対し、OJT(企業内で実施する仕事を教えながらの訓練)と教育訓練機関での座学の受講などに、国が費用の一部を助成する制度だ。

この制度を活用する協力企業(職業訓練に応じる企業)は、横浜市内に現在160社以上ある。

今年4月から活用を予定、効果を期待しているのが、中区のベイスターズ通り店など市内に3店舗を展開する「(有)ビューティ ニシムラ」。

同社の西村その江専務は、「新人3人を対象に、スタイリスト養成コースで訓練を実施します。訓練期間に人件費の助成があること、教えることで既存の中堅スタッフにも勉強になりま

す」と制度活用のプラス面を挙げる。

このほか、市内商店街では、飲食店美容院、整体院などがこの制度を活用し始めている。

### 「ジョブカード制度の概要」 有期実習型訓練

(1)新たな人材確保にこの制度の利用を  
考える場合

まず「訓練実施計画」を作成(ジョブカードサポートセンターに相談)して、受給資格認定の申請(独立行政法人雇用・能力開発機構都道府県センター)。ハローワーク経由ほかで人を採用して訓練を実施。訓練終了後、助成金を申請する。訓練期間は3カ月超6カ月以下。助成金(中小企業)は訓練受講中の賃金と受講料の5分の4、OJT訓練に1人1時間あたり800円。

(2)すでに雇用しているパートやアルバイトを訓練し、正社員化する場合にも利用できる。

\*「ジョブカード」とは、これを作成する中で自己の職業能力や意識を整理できるキャリア支援ツール。

### ■制度の詳細についてのお問い合わせ

横浜商工会議所・神奈川県地域ジョブ・カードサポートセンターまで  
TEL 6711-0133  
TEL 6711-0133  
FAX 6711-0134



「ジョブカードはうれしい制度」と西村専務

# 救急箱を商店街ぐるみで配備 若手の参画で前向きに変化 中区・麦田町発展会

麦田町発展会が元氣だと、最近話題  
になっている。

発展会は、J・R根岸線山手駅から徒歩15分ほど、本牧通り沿いの全長約400メートルの近隣型商店街だ。20年前には80店以上あった加盟店が現在は42店と半分。特に小売店の減少が著しく、今では10店程度。中元・歳末に毎年実施していた福引売り出しもやめて久しい。事業を縮小したことで、会費も月千円にしている。「役員会を開いても、昔はよかったのといった思い出話に浸りがちだった」(大谷稔会長)。

その発展会が、前向きになってきた。

話題を呼んでいるのは、「ファーストエイドキット」(通称、F+A=エフエイ)という救急箱を、昨秋から商店街ぐるみで導入していること。

エフエイは、人工呼吸時に必要なマスクや消毒液、手袋、包帯やガーゼ、絆創膏、はさみなどをセットにしたもの。交通事故などでけがをした人が商店街で出た時、近くの店舗に救急セットがあることを知っている人がいれば救急車が来るまでの応急措置ができる。また、車に配備しておけば、出先で万一の際に役立つ。

「これを発展会全体で導入すれば、地域貢献事業となるし、イメージアップにもなる。AED(電気的なショックを与え、心臓の働きを戻すことを試みる医療機器)よりも活用頻度が高いし、値段も1箱5千円と比較的安いので全店に導入を勧めてはどうか」と大谷会長に提案したのが、焼き肉店・心処の店主、加賀谷徹さん。

大谷会長も賛同、発展会で半額負担することに

この活動を知った地域振興の研究者が論文に掲載、また、タウンニュースや読売新聞などのメディアにも続いて取り上げられ、「麦田町、頑張ってるな」というイメージづくりにつながった。

導入後、交通事故と発作による転倒事故があったが、2件とも近所の設置店で応急手当を行ったという。

大谷会長は、「一般家庭にもエフエイの購入を勧めたい。購入した方には会で何らかのサービスをして、お客様とのつながりを深める道具として積極的に活用したい。中区そして市内全域の商店街にも広がってほしい」と期待する。

## ◆毎月、「発展会を考える会」

同商店会では、昨年10月から毎月1回、毎回10人程度が参加して、「発展会を考える会」を開催している。夜の7時から4、5時間にわたって沸騰した議論が続く。

最近では、お互いの経営の話までできるようにになった。

「我々古くからの商店主は、地元での商売に悲観的な人が多い。けれど、この会議で発言する30代、40代の人たちは、『ここはいいお客さんがいて、やりがいのある地区ですね』と我々を驚かせる。家賃を払って商売をする人は違う。150円商店街などのイベントでも積極的に取り組む。数年前からは、やはり若手の提案でハロウィンまつりを始めている。商店会の事業には、絶対に若い人の参加が必要だ」と大谷会長は強調する。



エフエイを手にする麦田町発展会のメンバー  
前列右は大谷会長、左は大村勲(不動産MR山手)、後列左から岡本豊(大和生花店)、佐藤亮一(白光社)、加賀谷徹(焼肉心処)、向直美(向クリーニング)、村松幸一(村松電気)、大村真琴(大村薬局)、田中一(ヒルサイドオート)の各氏



骨折時の添え木にもなるエフエイの箱と大谷会長

して、各店を回ったところ、全店の約7割にあたる30店が設置。昨年10月頃から店頭などにステッカーを掲示し始めた。

## 横浜市の補助金を利用できます。

\*LED(60w)、セラメタ灯(75w)使用の場合  
1灯にて2灯式の光量があります。



賛光電器産業株式会社

神奈川営業所

横浜市青葉区たちばな台 2-24-4

TEL.045-962-4517 FAX.045-962-4539

<http://www.sankodenki.jp>



中区 野毛小路

平成21年度完成 街路灯14基